

イチジク株枯病抵抗性台木 「**励広台1号**」の育成



広島県立総合技術研究所 農業技術センター 軸丸祥大

課題

株枯病



イチジク栽培で全国的に広がる土壌病害

課題

株枯病



イチジク栽培で全国的に広がる土壌病害

対 策

効 果

- ◆ 改植・・・・・・・・・・なし
- ◆ 農薬・・・・・・・・・・限定的
- ◆ 既存の抵抗性台木・・・・小
(セレストなど)

枯死した罹病樹

対 策

効 果

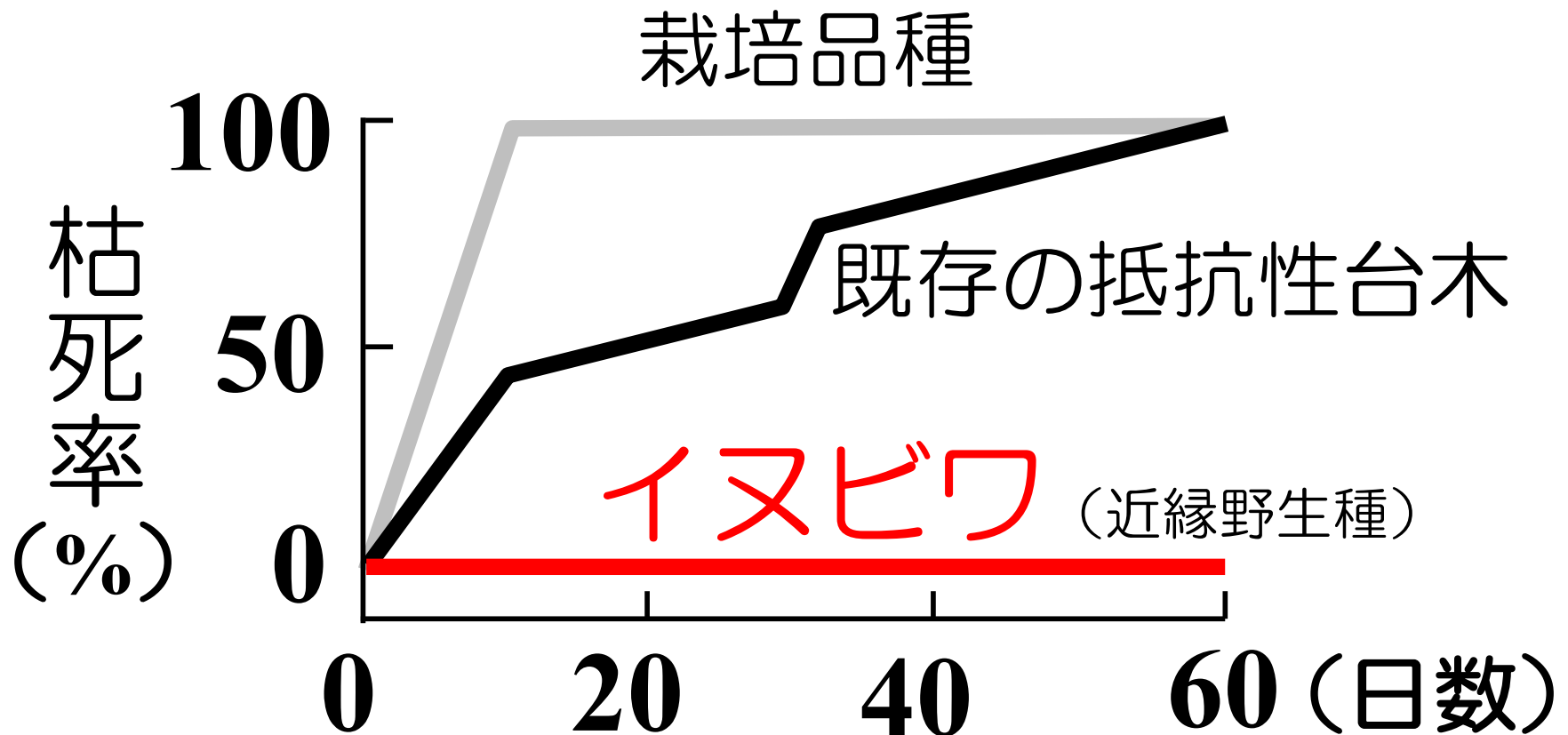
- ◆ 改植・・・・・・・・・・なし
- ◆ 農薬・・・・・・・・・・限定的
- ◆ 既存の抵抗性台木・・・・小
(セレストなど)

ニーズ

新たな抵抗性台木の開発

イヌビワの優れた抵抗性に着目

6/8



イヌビワの優れた抵抗性に着目

7/8



イヌビワにイチジクは接げない

事前の取組

世界初!! 種間交雑に成功

8/8



栽培品種

BC₁
(戻し交雑個体)

イヌビワ

【選抜基準】

- ◆ 生育は栽培品種と同等
- ◆ 株枯病抵抗性（イヌビワ と同等）
- ◆ 栽培品種との接ぎ木親和性



抵抗性台木として利用できる見通し

野生種イヌビワとの種間交雑体を利用した イチジク株枯病抵抗性台木新品種の開発



イノベ事業(29029C)

実施期間:2017～2021年度

代表機関……………広島県立総合技術研究所農業技術センター
共同研究機関……………農研機構 果樹茶業研究部門
大阪府立環境農林水産総合研究所
福岡県農林業総合試験場
生産者・実需者……………広島県果実農業協同組合連合会
研究管理機関……………食品需給研究センター

品種登録に向けた系統の絞り込み^{11/8}

有望 4 系統

NLBN7-2, NLBN7-5, BNBN7-3, BNBN7-5



NLBN7-5 を選定し ‘**励広台1号**’ と命名

「励広台1号」 台イチジクの普及状況 12/8

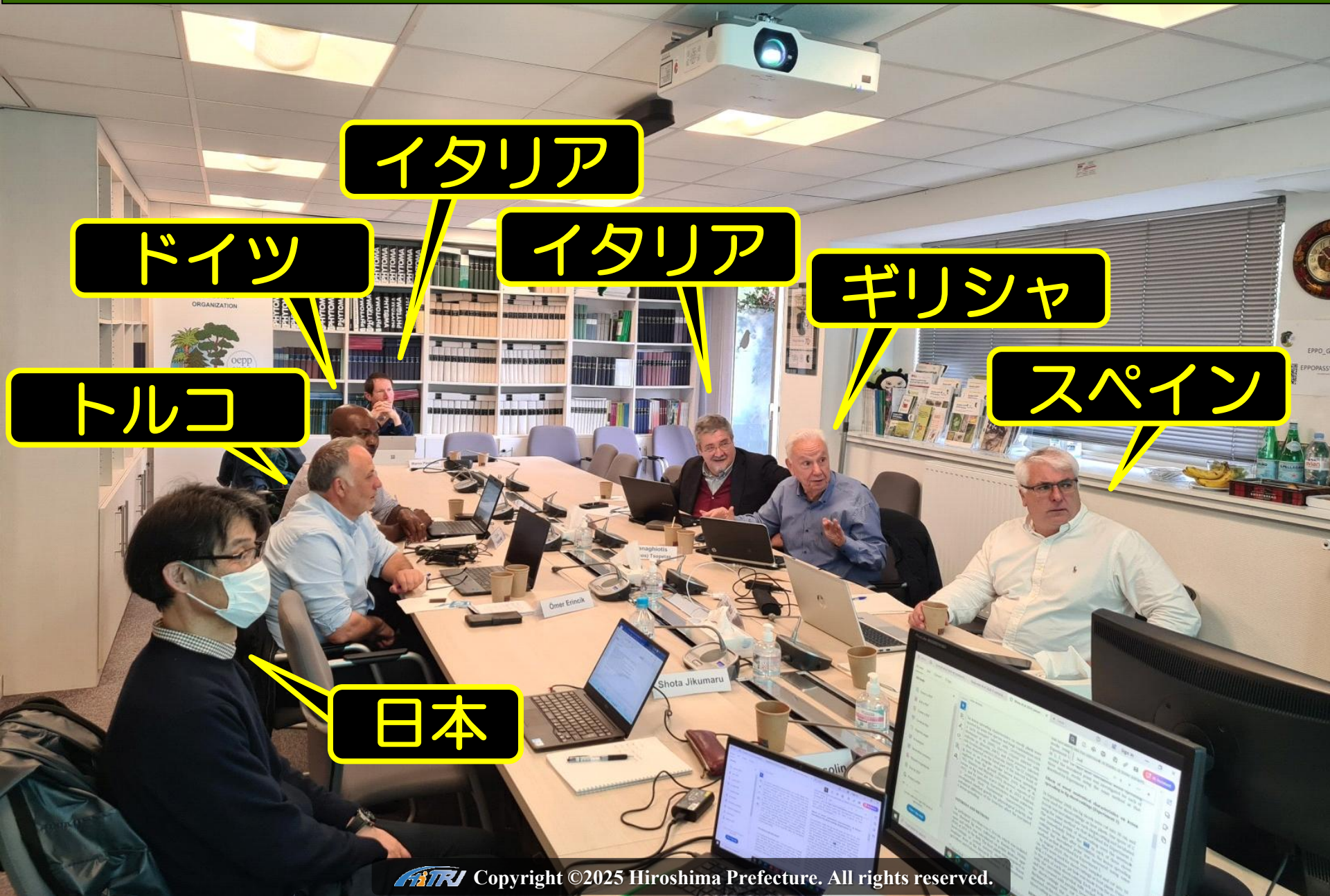
接ぎ木苗木販売開始：2022年～

挿し木

主要産地を含む13府県へ導入



パリで開催された専門家会議の様子 13/8



イタリア

ドイツ

イタリア

ギリシャ

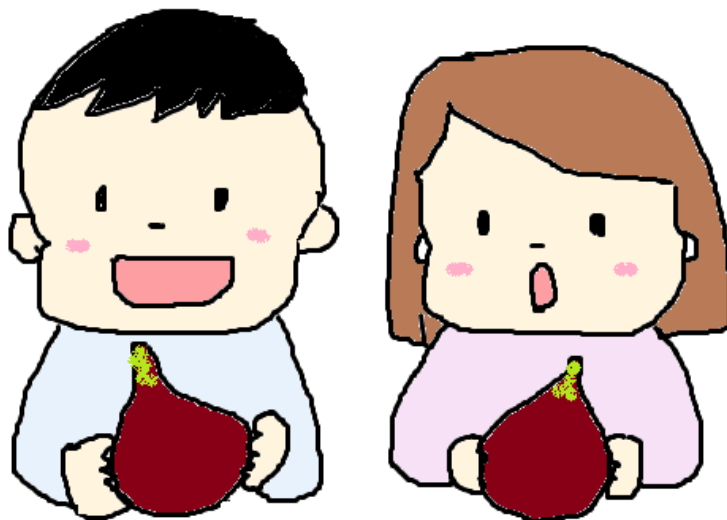
スペイン

トルコ

日本

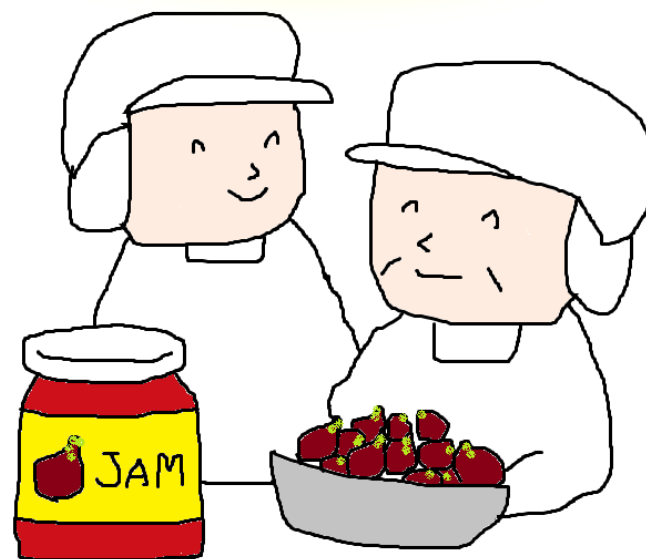
減農薬栽培

安全・安心な果実
を提供



株枯病の克服

地域特産物
イチジクの安定生産



生産者の収益増加・地域の活性化 !!

本研究の実施・立案にあたり，以下の皆様のご協力を得ました。ここに記して謝意を表します（敬称略，順不同）

◆コンソーシアムのメンバー

薬師寺 博，山崎 安津，西村 遼太郎，磯部 武志，上森 真広，
野方 仁，姫野 修一，池上 秀利，江端 一成，米澤 大真，
深澤 友香，藤田 勝司，星野 滋，森田 剛成，浜名 洋司，
須川 瞬，白上 典彦

◆課題立案や推進会議等でお世話になった皆様

平林 利郎，吉岡 博人，中野 正明，井上 幸次，佐藤 龍太郎，
石倉 聡，福島 啓吾，川口 岳芳，吉村 知子，
調査に協力いただいた当センターの職員

本研究の一部は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」（JPJ007097）の支援を受けて行った。